

令和2年度 海外研修のご案内

社会・経済の国際化が進展する中、世界の動きが地域住民の暮らしや地域社会・経済にも大きな影響を与えるようになり、地方自治体としても国際的な動向を常に注視し、迅速に対応することが必要な時代となっています。

また、膨大な情報が瞬時に世界で共有される現在、グローバルな情報を収集・分析し対処するためには、国際理解と国際感覚がますます重要になっています。

JIAMでは、国内での講義・演習の後、海外に赴き現場で学ぶ研修を実施しています。海外では、テーマに沿った知識や経験を持った専門家の指導を受けながら、現地にて見学や調査、意見交換を行い、様々な角度から多面的に政策を企画・立案し、実行することができる能力の向上を図ります。

JIAM海外研修の特長

◆ 現場にこだわったプログラム内容

それぞれのテーマに応じた都市や視察先を選定します。視察先では、その現場で働くスタッフ等との意見交換を通して、生の声を聞くことで理解を深めます。

◆ それぞれのテーマの専門家が同行し、指導します！

テーマに沿った知識を持った専門家が同行し、その指導のもと、現地にて視察や調査、意見交換を行います。日々「ふりかえり」の時間を設け、同行講師の助言や指導を受けることにより、知識を定着させながらさらなる理解を深め、政策形成能力や実行力の向上を図ります。

◆ 各分野で活躍している講師による事前研修

国内での事前研修において、各分野で活躍している講師による講義を受け、また、グループ討議や海外事情の事前調査を積極的に行うことにより、海外での研修の理解をより深めます。また、それらを通じて人的なネットワークを築くことができます。

1. グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～（国内+海外）

4日間の国内研修において、事前学習を行った後、アメリカに赴き、同行する専門家の指導を受けながら、自治体経営、都市計画、交通、環境、観光等において特徴ある取組が行われている現地の行政機関や関係団体等を訪問し、実地調査や意見交換を行います。

（日 程） 令和2年9月8日（火）～9月21日（月）を予定

【国内4日間、海外10日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- 行政、NPO、大学等、多様な主体によって行われているアメリカのまちづくりの取組について学ぶとともに、アメリカにおける行政の役割、地域経営手法について考える。
- アメリカの事例を通して、多面的にまちづくり施策を企画立案できる能力の向上を図る。

（視察先） アメリカ合衆国

（ワシントン州シアトル及びオレゴン州ポートランドを予定）

（令和元年度視察先：ポートランド、バンド）

（同行講師） 京都府立大学公共政策学部 教授・博士 川勝 健志 氏

（費用） 国内研修費約1.6万円+海外研修費49万円



ポートランド市で、自治会の代表者からneighborhood associationの説明を受ける様子（令和元年度）

2. 持続可能なまちづくり（国内+海外）

4日間の国内研修において、事前学習を行った後、ヨーロッパに赴き、同行する専門家の指導を受けながら、持続可能なまちづくりを目指して、特徴ある取組が行われている現地の行政機関や関係団体等を訪問し、実地調査や意見交換を行います。

（日 程） 令和2年8月29日（土）～9月11日（金）を予定

【国内4日間、海外10日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- ヨーロッパの各都市で行われている環境、交通、都市計画、観光、文化等の施策や取組の動向、考え方について理解を深める。
- ヨーロッパの事例を通して、多面的にまちづくり施策を企画立案できる能力の向上を図る。

（視察先） ドイツ北部及びデンマーク（3～4都市を視察予定）（令和元年度：ドイツ、スイス）

（同行講師） 龍谷大学政策学部政策学科 教授・博士 服部 圭郎 氏

（費用） 国内研修費約1.6万円+海外研修費46万円



ミュンスター市庁舎を訪問し、公共交通政策とマスタープランの説明を受ける様子（令和元年度）

3. 自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～（国内+海外）

3日間の国内研修において、事前学習を行った後、アジアの主要都市に赴き、同行する専門家の指導を受けながら、現地の行政機関や関係団体、文化交流団体等の取組について実地調査や意見交換を行います。

（日 程） 令和2年8月20日（木）～8月30日（日）を予定

【国内3日間、海外8日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- 現地の人々との意見交換等を通じて、日本と訪問国との政治・経済・文化交流等における現状と課題について理解を深め、今後の地域間交流促進の契機とするとともに国際感覚の養成を図る。
- アジア諸国との文化交流、経済交流の状況を踏まえ、所属団体の地域経済活性化につながる政策の立案と実行ができる能力の向上を図る。

（視察先） インドネシア（2都市を予定）（令和元年度：シンガポール、マレーシア）

（同行講師） 明治大学経営学部公共経営学科 准教授・博士 菊地 端夫 氏

（費用） 国内研修費約1.3万円+海外研修費27万円



プタリンジャヤ市幹部からスマートシティの説明を受ける様子（令和元年度）

※ 研修の日程等は、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 受講を希望される場合は、令和2年2月10日（月）までに「年間研修生派遣計画書」の提出をお願いします。手続きの詳細は、「令和2年度研修計画」（令和元年12月下旬発行予定）を参照してください。

修了者の声（令和元年度）

アメリカ【グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～】

●マーケティングとブランディングにより今のバンド市の急成長を実現したことがわかり、本市も参考にしたいと思いました。

ヨーロッパ【持続可能なまちづくり】

●この度の研修は、これまで私が携わってきた業務に関係することばかりでしたので、大満足です。

アジア【自治体の海外戦略～活力あるアジアとの交流～】

●海外研修に先立って、3日間の国内研修では、シンガポールとマレーシアの両国の文化と歴史について学びました。また、訪問先の事前調査としてグループ活動を行った点も自治体同士の交流を深める良い機会だったと思います。

【問い合わせ先】（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 (<https://www.jiam.jp>) 電話 (077) 578-5932 FAX (077) 578-5906



令和2年度消防職員コースのご案内

令和元年6月末の在留外国人数は、282万9,416人で過去最高を更新しています。また、住民の1割以上が外国人という集住地域もあります。さらには、平成30年には初めて訪日外国人旅行者数が3,000万人を超え、消防職員が外国人と接する機会も増えてきています。

この研修は、消防職員を対象に、非常時において外国人を救援救助する活動が迅速・的確に行えるよう、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、そのために必要な知識や方法を学ぶことを目的に開催します。

受講を希望される場合は、2月10日(月)までに「令和2年度JAM年間派遣計画書」をFAXによりお送りください。申込手続きの詳細は、「令和2年度研修計画」をご参照ください。

消防職員コース～非常時における外国人とのコミュニケーション～

- (日程) 5月13日(水)～5月29日(金) 17日間
- (内容) ・自治体の危機管理
※予定 ・異文化理解
・非常時に備えた地域コミュニティとの関わり方
・外国人住民からみた日本
・自治体の事例紹介(外国人への情報提供等)
・スピーチコミュニケーション
・外国人観光客への対応
・施策立案演習
・語学研修
共通: 英語
選択: 中国語又はポルトガル語 など
- (対象) 消防職員(自治体の防災担当職員含む)
- (受講経費) 概ね72,000円
- (予定人数) 30名



講義風景



救急ボイストラを使った実習風景

■ コースの特長

- 語学授業については、受講者の語学レベルに応じた少人数のクラス編成を行いますので、安心して学ぶことができます。
- ロールプレイを取り入れて、けがをした外国人に英語で様子を確認するなど、実際の状況を想定して再現することにより、生きた英語、使える英語が体得できます。
- 第二外国語として、中国語とポルトガル語の2言語から、地域の事情に即した言語を選択し、それぞれの言語の基礎を学びます。
- 講義や演習等を通して、全国各地の消防職員と意見交換をしながら、議論を深めることができます。
- JICA(国際協力機構)からの研修生を受け入れる際にも、このコースの修了者が活躍されています。

■ 参加者の声

- 講師が一流で、外国人講師からも授業を受けることができ、内容が充実していました。
- 全国の消防本部での取り組み事例を学ぶことができ、よかったです。

【問い合わせ先】(公財)全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号(<https://www.jiam.jp>) 電話(077)578-5932 FAX(077)578-5906

令和 2 年度 J I A M 年間派遣計画書

	研修名	派遣計画人数
海外研修	グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～（国内＋海外）	人
	持続可能なまちづくり（国内＋海外）	人
	自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～（国内＋海外）	人
国際文化研修	消防職員コース ～非常時における外国人とのコミュニケーション～	人
合計人数		人

都道府県名	団体名	市区町村コード番号

研修事務担当部署名	
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	
担当者名	

※団体が市区町村の場合は、市区町村コード番号欄に全国市町村要覧記載のコードを6桁で記入してください。

※令和 2 年 2 月 10 日(月)までに、FAXにより J I A M 教務部まで提出してください。

(FAX : 077-578-5906)